

前回の説明会で多数のご質問を頂戴いたしました。

ありがとうございます。

回答させていただきます。

1、帝塚山学院の教育理念は

「人間として生きる力を育てる」

—高い志、豊かな感性、他への思いやり—

本校では、生涯にわたって「学び」続ける子供の育成に努めています。

基礎学力を早期に定着させ、友達とのコミュニケーションで問題解決に向かう「協働学習」を展開して、将来多くの人々と連携を図りながら社会をリードする人材の育成を目標としています。また、場に応じた品位ある言葉遣いと立ち振る舞いを身につけさせることもその生涯において不可欠な「人間力」としてとらえ、これを指導しています。

2、帝塚山学院小学校の校風、日常の様子について

周りの環境は、閑静な住宅街ということもあり、大変のどかな雰囲気です。

穏やかな性格の児童が多く、ゆったりとした時間の中で落ち着いた学習生活を子供たちは送っています。本校の教員は、子供たちに距離感を感じさせず、いつも身近にいてきめの細やかで個を大切にした指導を行っています。

3、各行事について

帝塚山学院小学校では多種多様な行事を用意して様々な場面で子供たち自身が自分の可能性を見出し、また自己肯定感を向上させることを目指しています。

臨海学舎（4・5・6年対象）…大正6年の創立以来続く伝統行事。山口県萩市菊ヶ浜海水浴場で実施。くじけない心、体の鍛錬とともに友達と5泊6日の共同生活を通じてその絆を強めます。

キャンプ（5年対象）…奈良県吉野郡天川村の洞川キャンプ場で実施。自然の中での共同生活を行い、協力して様々な活動を展開します。自然の大切さのみならず、普段の生活を振り返り、家庭への感謝や普段の不自由のない暮らしについて考えます。

七夕まつり（全学年参加）…日本の伝統的行事である七夕を通じて保護者・同窓会を含め学院小学校にかかわる人々で協力して作り上げています。そろいの浴衣で、輪になり一体感をもって日本舞踊をもとにした「学院音頭」「七夕音頭」を踊ります。

スキー合宿（6年対象）…長野県小丸山スキー場にて経験の多少有無で班分けを行い、現地インストラクターが指導するスキー講習を受けます。ほとんどの児童が「シュテムターン」レベルに達しています。

修学旅行（6年生）…5月に3泊4日で熊本・長崎（平和公園・資料館）・佐賀（吉野ヶ里遺跡）・福岡（大宰府天満宮）を巡ります。単に景勝地をたどるだけではなく、平和・歴史の事前学習を行い、文字通り学を修める内容を重視しています。

耐寒遠足（全学年）

奈良の「山の辺の道」の自然を楽しみながら学年に応じた比較的長い距離を歩きます。（最長は6年生の約13km）

KGC(全学年対象、保護者参加可) 土曜日に希望者を対象に行われる野外活動。

ハイキングや飯盒炊爨などを親子で楽しみ、有意義な時間を共有します。

音楽会、美術展（全学年） 芸術面でも発表や制作を通じて感性を磨く重要な行事がこの二つの行事。音楽会は協力して美しい歌声、演奏を行い、美術展は様々なテーマと素材を用いて、子供らしい感性とエネルギーで作品を完成させます。また、音楽会はホール、美術展はギャラリーを借りての発表となり本物志向の学院のよさを感じていただけます。

その他にも

体育大会、長居競技場での体力テスト、百人一首大会、餅つき、芸術鑑賞、書初め展、春と秋の遠足などがあり、どれも子供たちが心待ちにしているものばかりです。

臨海学舎、キャンプを含め、宿泊行事においてのアレルギー対応もしっかり行っております。一つ一つの行事を経験するたびに子供たちは大きな成長を遂げています。

4、英語教育について

近年、幼児期に英語教育を経験して入学する児童もいれば、全く経験なく入学する児童もいます。英語科ではスタートの違いを肯定的にとらえ、小学校が大切にしている「個を大切にせる教育」のために、複数教員による少人数制授業を展開しています。そのため、ネイティブ教員4名、日本人の専任教員を3名配置しています。英検受験（卒業時に全員5級以上を取得目標）、進学後も英語の興味関心と強く持ち、学習を継続できるよう導きます。

他の取り組みとして

- ・レシテーションコンテスト（学内外の英語暗唱大会）への参加希望児童への指導
- ・オーストラリア、ニュージーランドへの国際交流（異文化交流）
- ・春の語学研修（福島県、ブリティッシュヒルズ）

国際交流、語学研修には事前学習を必ず受けること、行事の目的がしっかり理解できる児童であれば参加できます。

さらにTSS（帝塚山学院土曜スクール）が土曜日の9：30～15：30（基本）、16：45（希望者のみの個人レッスン）にわたり英語のイマージョンシステム（つけこみ学習）をもって展開しています。23名のすべての教員がネイティブであり、10名前後の

少人数クラスで小学校の授業が英語を用いて行われています。英語に興味のある児童に本校でも通学を勧めています。

5、TASCについて

帝塚山学院小学校にはお預かり教育の仕組み TASC (帝塚山放課後倶楽部) があります。

1～3年生の児童を放課後お預かりし、教職経験の豊富なスタッフが前半は学校の宿題の指導、後半は伝統遊びや習い事で学ぶことなどのプログラムを用意して 17:45 (延長 18:30) まで指導しています。

4年生からは学習に特化した TASC を用意しております。お預かりだけでなく、補習後も学校で学びを続けたい児童もお預かりして学習指導を行う B-TASC (ベーシック) と 5・6年については内部進学を視点においた進学 A-TASC (アドバンス) も本年度より展開します。これら学習 TASC では専門の指導者がこれにあたります。

業者委託ではなく、本校の TASC 専門の教員が内容を精査してプログラムを組んでいます。また、長期休暇中もお子様をお預かりする TASC を実施しています。

6、進学について

内部進学のコースが帝塚山学院中学校、帝塚山学院泉ヶ丘中学校に設定されています。

帝塚山学院中学校 (女子校) の進学コース

- ・ヴェルジェコース

エトワール…6年後、国公立大学・難関私立大学の受験進学を目指すコース

プルミエ…音楽、美術など芸術を目指す感性を磨くコース。加えて英語教育にも力を入れており、成績や希望によっては推薦校指定の大学への推薦も受けられます。(伝統的な中学校の教育課程が展開されています)

- ・関学コース…関西学院大学への進学を目指すコース。進学後の準備を6か年かけて行います。

帝塚山学院泉ヶ丘中学校 (共学) の進学コース

- ・特選コース…特に成績優秀者が進学できるコース。特待生待遇等の特典があります。
- ・医進コース…医歯薬大学の進学を念頭に有名国公立大学、難関私立大学進学を目指すコース。
- ・特進コース…有名大学進学を目指すコース。

それぞれのコースへは、内部推薦基準を満たし、推薦会議にて承認されたものが進学できます。現在の内部進学率は約60%。他の児童は、他学への進学を行っています。

主な進学先 (男子) …西大和学園・清風南海・清風など

主な進学先 (女子) …四天王寺・清風南海・大谷・神戸女学院など

7、進学指導について

帝塚山学院小学校では、内部への希望コース進学を目指した学習カリキュラムとプログラムを本年度より実施します。

早期に小学校過程の授業を修了し（6年生1学期までに主要4科）、5年生より外部模擬試験を受けていただき、学力を保護者・教員とともに把握して、来る6年生の内部進学に備えます。5年生から週1時間の進学に向けた複数教員による少人数制授業を展開してまいります。6年生では、併設両中学校のプレテストや入試問題の傾向を分析しながら、同じく複数教員による少人数制の授業を行います。この取り組みには、本校教員と併設中学校で指導に当たる教員が連携して進めてまいります。